

『畳の日』PR活動 in 熊本駅

～いぐさの産地によるこそ～

九州新幹線全線開業により、全国から多くの旅行者が訪れるようになった熊本駅。同駅構内で、9月24日の「畳の日」にちなんで、熊本県畳工業組合と合同でPR活動を実施しました。

路面電車の乗場へ続く東口と、新幹線の改札口付近をメインに、原草とパンフ等を配布。



新幹線改札口から出てきた観光客らは、突然の“原草のプレゼント”にびっくりしながらも、熊本県がいぐさ・畳表の一大産地との説明に納得した様子で、香りを楽しんでいました。

PR活動に威力？を發揮するのがなんとといっても“たあみ”です。行く先々で子どもや女性に囲まれて、一緒に記念撮影をする光景があちこちで見られました。ゆるキャラパワーおそるべしです。

また、熊本県いぐさ生産販売振興協会が用意した「たたみベンチ」5台の贈呈式も取り行われ、かねてから同ベンチの設置を希望していた迫田・熊本駅長から謝辞が述べられました。



積極的な声かけによる配布で、準備していた原草やパンフはどんどん少なくなり、PR活動は予定より早く終了せざるを得ないほどでした。